

## アプリで短命県返上

ソフトウェア開発を手がけるマルマンコンピュータサービス（弘前市）と弘前大学が、体重や血圧、体温、歩数など11種類のデータを入力して管理できるiPhone（ 아이폰 ）向けアプリ「健康物語」を無料で公開している。日々のデータをグラフにして見える化を図り、健康意識の向上、短命県返上につなげたい考え。24日、弘大でマルマンの工藤寿彦常務と中路重之教授らが会見し「楽しく健康づくりを」とPRした。

アプリは2月から公開。現在、市内企業の協力で実証実験を行っており、飲み薬の管理機能のほか、健康知識を高めるクイズやクロスワードパズル、動画も盛り込んだ。

弘大マルマンが公開と  
**健康データ楽しく管理**

また「会社帰りに1km泳ぐ」などの目標を設定する機能も追加。達成した場合、自己申告で「できたボタン」を押してポイントを獲得する。ためたポイントで、リングなどと交換できる特典導入も今後検討する。

アプリは文部科学省などによる研究プロジェクト「COI（センター・オブ・イノベーション）」の一環。マルマンは既に、同様の機能を持ったパソコン版ソフトを開発しており、工藤常務は「スマホアプリだと幅広い時間帯で利用できる。家族で健康づくりに取り組んでほしい」と語った。

アップルウォッチでも利用可能。秋ごろにも月額200円



データを入力して手軽に健康管理できるアプリ「健康物語」

前後で、機能を充実させた有料版の公開も見込む。4月にはAndroid機種向けアプリの公開も予定している。

（鎌田秀人）